

まちのたから

# 発見



地域がひとつになって取り組む

鈴木 勝士さん (大窪)  
松本 照雄さん (大窪)



▲鈴木さん(左)と松本さん(右)

に見てもらって、「お雛様を展示してほしい」と言ってもらえる方もいます。「享保雛等の古いお雛様を見たい方は、日野に来てもらえれば満足してもらえます。」とおっしゃいます。

## ●皆さんの助けがあった

展示では「見やすさ」にこだわっておられます。「骨董品等の古いものは一目見てその価値がわかりにくいもの。歴史や謂われを一目見てわかるように、展示の仕方にはこだわっています」とお話しいただきました。そのこだわりもあり、訪れた方から「わかりやすく、親切な説明がついていて嬉しい」と言っていただけなそうです。

鈴木さんと松本さんのお二人は、平成18年から日野祭りと秋の棧敷窓アートや日野ひなまつり紀行のときに木田徳さんの協力のもと、旧店舗でさまざまな展示をしておられます。これまで、曳山の見送り幕や明治、大正期の大礼服、浮世絵や古銭等展示の内容は多岐に渡ります。今月14日から始まる日野ひなまつり紀行でも雛人形等の展示をされます。

## ●伝統を大切に

鈴木さんと松本さんが展示を始められたきっかけは、棧敷窓アート実行委員

有されているものから選び、相談してテーマを決めておられます。展示のテーマを決めると、知人や近所の方に声掛けをして、展示する品を集められます。日野ひなまつり紀行では「せっかくならたくさんの方

## 善意の贈り主様 まごころのお米 ありがとうございます

# 米

12月16日(水)、日野町役場玄関前に30kg入りの米袋3袋が届けられているのを出勤した職員がを見つけました。

贈り主はわかりませんが、町には、これまで昭和52年ごろから毎年のように年末や年度末に善意のお米として米袋が役場玄関前に届けられています。

いただきましたお米は「善意の贈り主様」として、お礼状をつけて玄関ロビーに展示した後、日野町社会福祉協議会を通じて福祉関係施設等に届けました。

善意の贈り主様、ありがとうございました。



▲届けられたまごころのお米

## ～昔と今、街を巡る、時を巡る～ 日野ひなまつり紀行

- ◆開催日 2月14日(日)～3月13日(日)
- ◆開催場所 日野町大窪から村井、西大路にかけての一带

華やかでほほえましい雛人形との出会い…大窪から村井、西大路にかけての商家や民家など約200ヶ所以上で、美しく飾られたお雛さまや創作人形と出会えます。特に2月27日(土)から3月6日(日)の1週間は多くのイベントが開催されます。皆さんゆったりとした時間が流れる日野のまちをぜひ散策してください。

なお、期間中は町中を散策される方が多くなりますので、お車をご利用の方は、徐行運転にご協力をお願いします。



## ◆問い合わせ先

日野観光協会(日野まちかど感応館内) ☎026577